

# 複式学級における学習指導を通して、 「主体的に学ぶ子ども」を育てるために、県内各校で工夫している実践例を紹介しています。

## 授業アイデア編

6年 算数学習プリント

**ADEMNSZ**

【教師と一緒に学習する】  
※直接指導で課題を焦点化し、間接指導のときに立ち返る視点を示します。

【教師と一緒に学習する】  
※間接指導で、児童が自分の学習を振り返って整理する学習を支える視点を示します。

【学習リーダーを中心に自学する】  
※どんな活動をすればよいのか、内容を明確にします。

【学習リーダーを中心に自学する】  
※本時の学習活動を通して教師と一緒に学んだことを、自分の力で整理する視点を示します。



間接指導で、指導の充実を図るために各学校が工夫している実践を、例として掲載しています。

子ども相互の交流を進めたり、深めたりするための工夫  
・学習シートの工夫  
・学習リーダーの活用 等

児童に学習の進め方を理解させることは、複式形態で授業を進める上でとても重要です。  
全ての教科で示し、どの部分が直接指導や間接指導になるのか、児童自身に知らせることが必要です。

### 算数学習の進め方の例(高学年用) (～計算問題を追究する学習におけるリーダーの役割～)

- 導入「問題把握」～「自力解決」の段階
  - (a) 「問題を読んでください。」
  - (b) 「昨日までの学習と違うところはどこですか。」
  - (c) 「今日の課題を学習計画表で確認しましょう。」
  - (d) 「課題に付け足したいことはありますか。」
  - (e) 「自分のめあてを書いてください。」
  - (f) 「どんな方法で解けそうか考え、発表してください。」
  - (g) 「自分の追究方法をホワイトボードに書いてください。○分になったら発表。」
- 展開1「定着(練習合い)」の段階
  - (h) 「グループで話し合い、考えを整理してください。」 ※
  - (i) 「グループ毎の考えを発表してください。」 ※
  - (j) 「課題解決について、みんなで整理します。」 ※
- 展開2「習熟・適用」の段階
  - (k) 「練習問題をします。○分までやってください。」 ※
  - (l) 「時間になりました。」 ※
  - (m) 「確かめをします。」 ※

## 情報をお寄せください (教科領域教育室まで)

「複式学級のための学習指導の進め方ガイド」は、よりよいものをめざし、今後も更新していきます。特に、資料編では、県内の先生方のためにより多くの情報を提供したいと考えています。学校等で実践された授業について、ぜひ情報をお寄せください。

岩手県立総合教育センター 教科領域教育担当  
TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562  
E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp



## 研究主題 複式指導に関する 指導資料の収集・整理・分類

【研究担当者】 吉田 久美子 吉田 澄江  
泉田 学  
【この研究に対する問い合わせ先】  
TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562  
E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

## 研究のねらい

岩手県の小学校は、統廃合が進む一方で、同時に小規模化も進んでいます。そのため、新たに複式学級を有する学校も現れ、複式指導について不安や悩みを抱える教員が少なくありません。しかし、複式指導に関する理論や授業レベルまで具体化した実践事例集等の資料は少なく、日常的に授業改善を行っていく状況にあります。  
そこで、岩手県立総合教育センターの研究をはじめ、県内や県外でこれまでに作成した複式指導に関する資料を、新たに複式学級を有する学校の教員や複式指導未経験者でも活用しやすいという視点で整理・分類し、「複式学級のための学習指導進め方ガイド」を作成しました。この研究は、作成したガイドブックを日々の授業づくりに参考にするを通して、複式指導の悩み解消や授業改善に役立たせることをねらいとしています。さらに、小規模校で学習する児童に、複式学級における学びのよさを実感させたいと考えています。

## 複式指導に関する資料の収集・整理・分類の視点

岩手県立総合教育センターには、これまでに岩手県で作成した複式指導に関する資料や情報が集積されていましたが、新たに25年度・26年度の2年間に渡り、県内や県外の各学校で実際に実践された最新の授業資料を収集しました。  
収集した複式学級における資料は、理論に関するものと具体的な授業実践に関するものにと整理・分類し、一つの冊子にまとめ上げました。内容は、「複式学級の特質」「複式学級の特質を生かした指導過程の基本的な組合せ方」「直接指導や間接指導の進め方」「授業づくりの手順」「間接指導を充実させるためのアイデア」「授業実践資料」等です。整理・分類にあたっては、文部科学省で発行している「小学校複式指導資料」(昭和55年6月発行、平成7年10月発行)の考え方を基盤にしました。

## ガイドブックの構成

- ①理論編
  - 複式学級の特質
  - 複式指導の特質
  - 指導内容の組合せの類型
  - 指導過程の例
  - 直接指導と間接指導のポイント
- ②授業理論編
  - 授業づくりの手順
  - 授業づくりの実際
- ③授業アイデア編
  - 間接指導の児童の活動を支える指導の工夫
  - 少人数による学びを支える指導の工夫
- ④資料編
  - 指導過程の例



# このガイドブックの特長

- ◆岩手県内で進められている「基本的な指導過程」を5つのモデルに分類しています。
- ◆学年別指導と類似内容指導の授業づくりについて、その手順と留意点を解説しています。  
P.12～P.18  
P.24～P.34
- ◆県内の授業実践を、指導過程の5つのモデルに合わせて整理・分類し、「資料編」に集積しています。
- ◆目次をQ&A形式にすることで、先生方のニーズに合わせて、知りたい項目をすぐに探すことができるようにしています。
- ◆より具体的な授業を視覚的にイメージしたい場合には、長期研修生の研究成果物「複式指導映像資料集(DVD)」で理解を深めることができます。

平成26年度研究  
「主体的に学習する子どもを育てる  
複式学級の授業改善に関する研究」

## 理論編

岩手県内で進められている「複式学級における指導過程」を5つのモデルにまとめました。



### 段階をずらして組み合わせた指導過程の例(モデル1-1)

下学年段階	指導形態(わたり)		上学年段階
導入	直接指導	間接指導	前時終末
①展開	間接指導	直接指導	導入
②展開	直接指導	間接指導	①展開
終末	間接指導	直接指導	②展開 終末

ずらし

- 「課題の把握」や「まとめ」を両学年に直接指導する場面を設定しやすくなります。
- 教師は、複数回わたることができるので児童の実態を細かく把握できます。
- わたりの回数が多すぎて、授業がとぎれとぎれにならないよう配慮する。

「理論編」で示した指導過程のモデルは、「授業実践編」では授業づくりを通して、「資料編」では県内各校の指導案等でその理解を深めることができます。

複式学級における指導過程は、2つの学年の教科の特質や指導のねらい等に配慮して指導段階を組み合わせます。このガイドブックで紹介している5つのモデルには、以下のような特徴があります。

- ◇モデル1-1 指導の4段階をずらして組み合わせる(わたりは複数回)
- ◇モデル1-2 指導の4段階をずらして組み合わせる(わたりは最小限)
- ◇モデル2-1 指導の4段階はずらさず各段階の時間配分をずらす(共有の時間なし)
- ◇モデル2-2 指導の4段階はずらさず各段階の時間配分をずらす(共有の時間として個別指導の場を設定)
- ◇モデル2-3 指導の4段階はずらさず各段階の時間配分をずらす(共有の時間として共通思考の場を設定)

## 「学年別指導」と「類似内容指導」の授業づくりの 手順と留意点を解説しています。

## 授業理論編



ステップ1 学習内容の整理・分類	複式学級を構成する2つの学年の学習内容を、系統性や関連性という観点で整理・分類する。 ※ <b>わたりを共通にする効果のある学習内容を明確にする。</b>
ステップ2 年間指導計画の見直しと修正	整理・分類した2つの学年の学習内容を含む単元の組み合わせ方を考えるという観点で、年間指導計画を見直す。 ※ <b>児童の実態や学校の実情を考慮する。</b>
ステップ3 単元指導計画作成のポイント	学習内容や学び方の系統性や関連性を考慮して、単元の指導計画を立てる。 ※ <b>単元の中でも特にすり合わせたい場面を考慮する。</b>
ステップ4-1 学年別指導の授業づくり	それぞれの学年の系統性を重視した授業づくりを行う。 ※ <b>同時導入や同時終末を取り入れ、学級として一体感をもたせるよう配慮する。</b>
ステップ4-2 類似内容指導の授業づくり	2つの学年の内容に共通性を見出し、協力しながら学習意欲めたり広げたりできる授業づくりを行う。 ※ <b>共通導入や共通終末を取り入れる工夫をする。</b>

複式形態の授業を効果的に行うためには、類似内容指導を吟味することが大切です。

月	第1学年	第2学年
4	◇あさ	◇ふきのとう
9	◇うみのかくれんぼ	◇どうぶつ園のじゅっい
	(言語活動) クイズ大会をひらこう (指導事項) 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと	
	※1年生は、うまくできなくてよい。教師がたくさんかかわって指導する。	※2年生は、教師の手を借りずに行えるようにする。身に付けた力を生かして1年生に教える。

複式学級を構成する学年、組み合わせる教科、単元や学習内容等を整理したり、分類したりして、2つの学年が一緒に学ぶ際に最適な授業を4つのステップで解説しています。

## 資料編

指導過程のモデルに合わせて整理・分類した  
県内の実践例を紹介しています。



### 「単元指導計画」と「一単位時間の授業展開」

第1学年		第2学年	
【領域】 D 量と測定	【領域】 D 量と測定	【領域】 D 量と測定	【領域】 D 量と測定
【単元名】 どちらがおい (東京書籍)	【単元名】 水のかさのたんい (東京書籍)	【単元名】 水のかさのたんい (東京書籍)	【単元名】 水のかさのたんい (東京書籍)
【単元目標】 ・体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての理解の基礎となる経験や、体積についての感覚を身に付けることができる。	【単元目標】 ・体積の測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、体積の測定ができるようになることと、体積についての量の感覚を身に付けることができる。	【単元目標】 ・体積の測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、体積の測定ができるようになることと、体積についての量の感覚を身に付けることができる。	【単元目標】 ・体積の測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、体積の測定ができるようになることと、体積についての量の感覚を身に付けることができる。
【指導計画】	【指導計画】	【指導計画】	【指導計画】
時 学習活動	時 学習活動	時 学習活動	時 学習活動
1	2つの容器に入る水の体積を比較しようとする。写真を見て、体積が大きいのはどちらの容器か予想する。 ・形の異なる2つの容器に入る水の体積の大小を比べる方法を考える。	1	2つの容器に入る水の体積を比較しようとする。写真を見て、体積が大きいのはどちらの容器か予想する。 ・水の異なる2つの容器に入る水の体積の大小を比べる方法を考える。
2	直接比較、間接比較の方法で体積を比べる。	2	直接比較、間接比較の方法で体積を比べる。
3	教科書の写真を見て話し合い、水の体積の比べ方を考える。2つの学年の内容に共通性を見出し、協力しながら学習意欲めたり広げたりできる授業づくりを行う。	3	教科書の写真を見て話し合い、水の体積の比べ方を考える。2つの学年の内容に共通性を見出し、協力しながら学習意欲めたり広げたりできる授業づくりを行う。
4	任意単位による比較の方法で体積を比べる。	4	任意単位による比較の方法で体積を比べる。

県内の授業実践例を多数掲載しています。実際に授業をつくる場合に参考にすることができます。

・国語、算数、その他の教科を掲載しています。  
・教科別に、低学年、中学年、高学年の順に掲載しています。  
・実践事例は、見開きで構成しています。

各授業実践がどのモデルに分類されるのか明記されています。モデルの特徴と授業の意図を考え合わせて理解することができます。

第1学年		第2学年	
【本時の目標】 ・身の回りにあるものの体積を、任意単位を用いることにより、比較し、大きさや重さを比べることができる。	【本時の目標】 ・身の回りにあるものの体積を、任意単位を用いることにより、比較し、大きさや重さを比べることができる。	【本時の目標】 ・身の回りにあるものの体積を、任意単位を用いることにより、比較し、大きさや重さを比べることができる。	【本時の目標】 ・身の回りにあるものの体積を、任意単位を用いることにより、比較し、大きさや重さを比べることができる。
【本時の展開】	【本時の展開】	【本時の展開】	【本時の展開】
1. 導入 ・身の回りにあるものの体積を比べようとする。写真を見て、体積が大きいのはどちらの容器か予想する。 ・水の異なる2つの容器に入る水の体積の大小を比べる方法を考える。	1. 導入 ・身の回りにあるものの体積を比べようとする。写真を見て、体積が大きいのはどちらの容器か予想する。 ・水の異なる2つの容器に入る水の体積の大小を比べる方法を考える。	1. 導入 ・身の回りにあるものの体積を比べようとする。写真を見て、体積が大きいのはどちらの容器か予想する。 ・水の異なる2つの容器に入る水の体積の大小を比べる方法を考える。	1. 導入 ・身の回りにあるものの体積を比べようとする。写真を見て、体積が大きいのはどちらの容器か予想する。 ・水の異なる2つの容器に入る水の体積の大小を比べる方法を考える。
2. 展開 ・直接比較、間接比較の方法で体積を比べる。	2. 展開 ・直接比較、間接比較の方法で体積を比べる。	2. 展開 ・直接比較、間接比較の方法で体積を比べる。	2. 展開 ・直接比較、間接比較の方法で体積を比べる。
3. 展開 ・教科書の写真を見て話し合い、水の体積の比べ方を考える。2つの学年の内容に共通性を見出し、協力しながら学習意欲めたり広げたりできる授業づくりを行う。	3. 展開 ・教科書の写真を見て話し合い、水の体積の比べ方を考える。2つの学年の内容に共通性を見出し、協力しながら学習意欲めたり広げたりできる授業づくりを行う。	3. 展開 ・教科書の写真を見て話し合い、水の体積の比べ方を考える。2つの学年の内容に共通性を見出し、協力しながら学習意欲めたり広げたりできる授業づくりを行う。	3. 展開 ・教科書の写真を見て話し合い、水の体積の比べ方を考える。2つの学年の内容に共通性を見出し、協力しながら学習意欲めたり広げたりできる授業づくりを行う。
4. 終末 ・任意単位による比較の方法で体積を比べる。	4. 終末 ・任意単位による比較の方法で体積を比べる。	4. 終末 ・任意単位による比較の方法で体積を比べる。	4. 終末 ・任意単位による比較の方法で体積を比べる。